

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 国語・書写

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：国語書写)

1 調査研究の経過・内容	☐ 6月27日（木） 第13・20地区教科用図書合同調査委員会及び第1回国語書写小委員会 ・小委員会員の確認・調査研究日程の確認並びに内容・役割分担の確定 ☐ 6月28日（金）～7月10日（水） 各自、各教科書についての調査・研究 ☐ 7月11日（木） 第2回国語書写小委員会 ・調査内容の交流 ・各教科書の内容・構成・使用上の配慮事項等に関わる意見交換 ☐ 7月11日（木）～7月17日（水） ・意見交流を基に個別に再検討・精査 ・意見集約と報告書（検討版）作成 ☐ 7月18日（木） 第3回国語書写小委員会 ・報告書（検討版）の検討・精査 ☐ 7月19日（金）～7月25日（木） ・報告書（提出版）の作成～集約完了 ☐ 7月26日（金） ・各種報告書の送付完了 ☐ 8月8日（木）調査研究結果説明会 ・調査研究結果説明会にて説明 ※協議内容は別紙（様式4）
2 調査研究の具体的資料	1 教科書編修趣意書 2 採択参考資料 3 学習指導要領解説
3 少数意見等	特記事項なし

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	国語・002-72 国語・002-82 国語・002-92	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列		○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。			
		第1学年～ 集めた情報の整理の仕方を身に付け、図表を入れたレポートを書く活動や、浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を考える活動			
		第2学年～ 必要な情報に着目し、囲みや矢印、表を使い整理する活動や、写真資料を使って古典を学び、筆者のものの見方や考え方を捉える活動			
		第3学年～ インターネットなどで調べることを通して、情報の信頼性と客観性を吟味する活動や、古典の言葉を読み味わい、一節を引用して考えを書く活動			
		○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。			
		第1学年～ 話の中心を明確にし、スピーチの構成を考える活動や、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動			
		第2学年～ 資料や機器を活用して分かりやすく説明したり、伝えたりする活動や、互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す活動			
		第3学年～ 相手や目的に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動や、多様な意見を理解し、互いの意見を生かして話し合い、合意を形成する活動			
		○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。			
		第1学年～ 調べて分かった事実や考察について構成を考えてレポートを書く活動や、根拠を明確に示し、自分の意見が伝わる文章を書き、感想を交換する活動			
		第2学年～ 多様な方法で集めた材料を整理し、読み手の立場に立って表現を工夫する活動や、根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動			
		第3学年～ 集めた材料を吟味し、目的や意図に応じて文章の種類を選択して書く活動や、論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある批評文を書く活動			
		○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。			
		第1学年～ 詩に描き出されている風景や、込められている思いを想像し、音読する活動や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する活動			
		第2学年～ 登場人物の言動の意味を考えて作品を読み深める活動や、複数の文章を読み比べて、構成や論理の展開、表現の工夫について考える活動			
		第3学年～ 作品の展開や表現の仕方に着目し、批評する活動や、文章に書かれている内容の妥当性を吟味・検討しながら読む活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。			
		第1学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などの描写をもとに読み取ったり、文章の構成や表現の工夫について発表し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
		第2学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成や表現を工夫して記事を書き換えたり、場面の描かれ方を比較し、場面の展開や表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
		第3学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物のものの見方や考えについて考え、人物像をつかんだり、筆者の主張とその根拠について捉え、書き方の工夫について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 段落の役割や段落どうしの関係を捉え、要旨をつかみ、構成や表現の効果について考える活動の後に、事実と考えとの関係を捉え、必要な情報に着目して要約する活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の日常生活から題材を決め、出来事や思いが伝わるように随筆を書く活動の後に、表現の効果を考えて描写し、想像した場面が伝わるように工夫して物語を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の話し手の意見や根拠に注意して聞き、自分の考えと比較する活動の後に、話の展開を予測しながら聞き、内容や表現の仕方を評価して自分の考えを深める活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年）や社会生活とつながりのある体験学習について、それぞれの場面に応じたスピーチ活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な種類・テーマの本を紹介した「読書案内」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「領域別教材一覧」で、既習事項を振り返らせたり、今後の学習の見通しをもたせたり（全学年）、「言葉の学習を始めよう」に、国語の学習の意義を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 『言葉の力』一覧」で中学校3年間の学習を見通したり振り返ったり（全学年）、脚注欄などの小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	国語・015-72 国語・015-82 国語・015-92	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 集めた情報を整理して分かりやすく伝えるリーフレットを作成する活動や、仮名遣いなどに注意して「竹取物語」を音読し、古典の世界に親しむ活動 第2学年～ 複数の情報を比較・整理して、関連づけながら考えをまとめる活動や、「枕草子」などの古典を読んで、自分の知識や経験と結び付ける活動 第3学年～ 情報の扱い方について、考えたことを話し合う活動や、「論語」の言葉を選んで引用し、身の回りの事柄と関連付けて、考えたことを書く活動			
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 日常生活から話題を決め、構成を工夫して伝える活動や、「話し合いのこつ」を意識して話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動 第2学年～ 資料や機器を活用して自分の考えを分かりやすく伝える活動や、地域の魅力を伝えるために集めた材料を整理し、よりよい伝え方を話し合う活動 第3学年～ 聞き手や場の状況に応じて、話し方や表現を工夫する活動や、中学校生活で出会った言葉を集めた名言集について、その編集方針を話し合う活動			
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 集めた材料を整理し、伝えたい内容を明確にしてレポートを書く活動や、創作した詩について交流し、感じたことが効果的に伝わるように推敲する活動 第2学年～ 手紙やはがきを読み手の立場に立って推敲する活動や、創作した短歌や俳句を読み合い、表現の工夫などについてよい点や改善点を見つける活動 第3学年～ 条件に応じて表現などを工夫し、説得力のある文章を書く活動や、批評文を読み合い、論理の展開や表現についてよい点や改善点を見つける活動			
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 必要な情報に着目して要約したり、要旨を捉えたりする活動や、描写をもとに場面の展開や人物の心情変化を捉え、表現の効果について考える活動 第2学年～ 登場人物の相互関係を整理し、人物像の設定の仕方を捉える活動や、図表と文章などを結び付けて、筆者の考えを捉える活動 第3学年～ 文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する活動や、作品に表れているものの見方や考え方について考え、自分の意見をもつ活動			
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の文章を読み比べ、構成や展開について考えたことを伝え合ったり、描写を基に、登場人物相互の関係や心情の変化を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の人物像について、考えたことを伝え合ったり、自分の知識や経験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章を読んで、人間や社会について考えたことを伝え合ったり、詩の形式やリズムに注意しながら、表現の特徴を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 場面と登場人物の行動の描写を結び付けて、登場人物の心情を深く読み取る活動の後に、情景等の描写と場面の展開を結び付けて、登場人物の心情を深く読み取る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の書く内容の中心が明確になるように段落の役割を意識して文章の構成や展開を考えて書く活動の後に、段落相互の関係を明確にして文章の構成や展開を工夫して書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の結論を導くために、相手の考えと比較しながら聞き、互いの立場や考えを尊重して話し合う活動の後に、合意形成に向けて、進行の仕方を工夫して計画的に話し合う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 日常生活の様々な体験を振り返って題材を決め、随筆を書く活動（第1学年）や説得力のある論理展開を考え、構成を工夫して批評文を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書習慣の形成のため、読書に親しむ学習活動を扱う「読書活動」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各教材の冒頭に「学習目標」を提示し、末尾には学習を振り返る機会を設けたり、「読むこと」教材の「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 「領域別教材一覧」で「つけたい力」を示し、身に付けた力の自覚と達成感を促したり（全学年）、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	国語・017-72 国語・017-82 国語・017-92	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 情報同士を比較して言葉と画像を組み合わせ広告を作る活動や、昔話を読んで様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動 第2学年～ 情報の効果を考えたり小説を脚本に書き換えたりする活動や、枕草子などを読んで、作者のものの見方や考え方に対して自分の考えをもつ活動 第3学年～ 複数の社説から情報を捉え、意見や主張について考える活動や、和歌のリズムや内容の特徴を理解して作者の心情を想像し、和歌を味わう活動			
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 伝えたいことを明確にしてお気に入りの一品を紹介する活動や、互いの意見を整理しながら話し合い、自分の考えをまとめる活動 第2学年～ 異なる立場や考えを取り上げて、ニュースや出来事を紹介する活動や、考えの共通点や相違点を捉えながら討論し、結論をまとめる活動 第3学年～ 話し手の表現を評価しながら聞き、自分のスピーチを改善する活動や、互いの考えを尊重しながら話し合い、合意できる結論を出す活動			
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 目的や意図に応じて集めた材料を整理して案内文を書く活動や、客観性のある資料を参考に根拠と主張のつながりを明確にして意見文を書く活動 第2学年～ 伝えたいことを明確にしながら新聞の投書を書く活動や、表現の効果を確かめながら、適切な言葉を選び、手紙やメールを書く活動 第3学年～ 論理の展開を考えて説得力のある批評文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて、目的に応じた内容や表現を工夫し、自己PR文を書く活動			
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 作品の構成や展開、人物の関係を捉えて作品の特徴を説明する活動や、論理の展開や表現の工夫を捉え、筆者の説明の意図をまとめる活動 第2学年～ 作品の印象に残った表現とその効果について考えをまとめる活動や、論の展開と主張を捉えながら知識や経験と結び付けて考えをまとめる活動 第3学年～ 語りに着目しながら作品を読んで考えをまとめる活動や、構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わりについて考える活動			
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の時間的な場面の展開に着目しながら読んで気付いたことを話し合ったり、論の構成や展開に着目して読みながら筆者の主張の背景を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、語り手の視点を捉えながら読み、登場人物の人物像について考えたり、文章を読み比べて筆者による論の構成や表現の意図の違いを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の特性や価値について批評しながら読んで、自分の意見をもったり、文章の構成や展開の仕方を評価しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 段落の役割を意識して文章の構成や展開を考えながら紹介文を書く活動の後に、読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを見直したり、確かめたりしながら報告文を書くなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の中心となる内容と、それを説明する内容の関係を踏まえてスピーチの構成を考える活動の後に、課題を多面的に捉えて設定し根拠の適切さや論の展開に注意して自分の考えを伝えるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の物語の構成や展開を意識して表現の効果を考えながら書く活動の後に、中学校での学習を振り返り、情報をまとめて読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する活動（第1学年）や社会問題の中からテーマを決めて情報の信頼性を確かめながら新聞記事を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、生徒の学びを深める読書案内として「広がる本の世界」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「みちしるべ」や「学習活動の流れ」などで学習の重点を示したり（全学年）、各單元における教材の冒頭に学習目標を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 「言葉の地図」で教材の指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり（全学年）、明朝体やゴシック体を基本としながら、UDに対応した独自の教科書体を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	国語・038-72 国語・038-82 国語・038-92	国語1 国語2 国語3
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 本やウェブサイトから集めた情報を基に、自分の考えをまとめる活動や、いろは歌などを音読して古典のリズムを味わい、古典の世界を想像する活動 第2学年～ 話の筋や論点を整理するために、情報と情報の関係を図で整理し、共有する活動や、作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ活動 第3学年～ 発信者の立場や意図を推測し、情報の信頼性を吟味する活動や、学習した古典の文章の中から引用し、身近な人に思いを伝える活動			
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ わかりやすく伝えるために、話の構成を工夫してスピーチする活動や、話題や展開を捉えて話し合い、その結果をクラス全体に報告する活動 第2学年～ 話の構成を工夫し、資料や機器を使って魅力的な提案をする活動や、グループ内での役割を決め、異なる立場や意見を尊重し合いながら討論する活動 第3学年～ メモを取りながら意見を聞いて適切さを判断し、スピーチをよりよくするための助言を考える活動や、課題を見つけて話し合い、合意形成を図る活動			
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 情報を集め取捨選択し、まとめ方や順序を工夫して文章を書く活動や、情報を引用の仕方に注意して根拠を明確に示し、レポートにまとめる活動 第2学年～ 目的に応じて本や雑誌など多様な方法で情報を集め、整理し、伝えたいことを紙面にまとめる活動や、表現の効果を考えて、描写を工夫して物語を書く活動 第3学年～ 課題に沿ってグラフなどの情報を読み取り、文章の構成や論理の展開を考えて小論文を書く活動や、広告について客観的に分析し、批評文を書く活動			
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 登場人物の心情の変化をとらえ、図などを使って整理する活動や、本文を要約して筆者の主張をつかみ検討し、自分の立場を明確にして意見をまとめる活動 第2学年～ 伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える活動や、観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の効果について考える活動 第3学年～ 登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する活動や、論説の比較を基にグループで討論し、自分の考えをまとめる活動			
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文学的文章教材の場面や描写を結び付けて内容を解釈したり、文章の構成や表現の効果についてグループで語り合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考えたり、人物像や表現の効果など、自分の選んだ観점에서作品の魅力を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考えたり、表現に着目して詩を読み、社会について考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 必要な情報を判断してメモを取りながら聞き取り、情報を整理して伝える活動の後に、聞き方や質問の仕方を工夫して相手の話を引き出し、対話を充実させる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動の後に、文章の構成や論理の展開を吟味し、自分の考えを文章にまとめる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の対話を通して、国語を学ぶ意義を考えてコピーにまとめる活動の後に、3年間の国語の学びを振り返り、過去と未来の学びについて冊子にまとめて発表会を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 読み手の立場に立って、案内文を推敲する活動（第1学年）や社会生活の中から自分が訴えたいことを見つけ、クラス全体に向けてスピーチをする活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマを扱った読書单元「いつも本はそばに」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学びのカギ」で、学習の流れや学習のポイントを明確に示したり（全学年）、各教材の「振り返る」で、自分の言葉で学びを価値づける場を設けたり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 「学習の見通しをもとう」で1年間の学習を見渡したり（全学年）、漢字の読み仮名などの小さな文字にユニバーサルデザイン書体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年	書写・002-72	新編 新しい書写 一・二・三年
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 字形と配列を整える書き方を確かめて書いたり、話を聞きながらメモをとるときに気を付けることを考えたりすることを通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 行書の様々な書き方を漢字表などで調べて書いたり、楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要かを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 国語科で学習する文学作品などの一節を書いたり、身の回りの文字の目的とそれに応じた工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の連続について、形の特徴などに気を付けて書いたり、楷書と比べながら点画の方向や形の変化を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、楷書と比べながら行書に調和する仮名の特徴を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 自分で選んだ言葉を書き初めで書いたり、伝えたい思いを効果的に表現するための工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の書き方と字形の整え方、文字の大きさと配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、これまでに毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を筆記具や文字の大きさを工夫して書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、仮名を整えて書くために気を付けることを考えたり、仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを自分の書いた文字で振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、行書と仮名の調和について考えたり、どのように行書と仮名が調和しているのかを筆圧の変化、筆脈の用語を使って説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、現代につながる文字の役割について考えたり、文字が果たしてきた役割や現代とのつながりについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について点画の書き方と字形の整え方を確かめた後に、仮名の書き方と字形の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や形の特徴などを確かめた後に、行書と仮名の調和について理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 手書き文字の特徴を確かめた後に、ノートの効果的な書き方について学習を通して理解したことを話し合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ お礼状や防災パンフレットの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1、2学年）や、文字の歴史や使われ方など、文字文化についてのコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 様々な書式とそれらを生かす場面について学ぶ題材「生活に広げよう」（全学年）や、学校生活だけではなく生涯にわたって社会生活の中で使用される様々な書式について学べる「書写活用ブック」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 振り返りなどの小さい文字でも読みやすいカラーユニバーサルデザインフォントを使用したり、すべての生徒の色覚特性に適応するようなデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		15・三省堂	第1・2・3学年	書写・015-72	現代の書写一・二・三
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。				
	第1学年～ 点画の組み立てに気を付けて書いたり、紙面全体における記事などの配置を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動				
	第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に気を付けて書いたり、目的や必要に応じて楷書と行書の使い分を考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動				
	第3学年～ これまで学んだことを生かして身のまわりの文字を書いたり、身のまわりの生活の中から印象に残った文字の工夫や効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動				
	○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。				
	第1学年～ 点画や筆脈の連続に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の形や方向の変化がどこに表れているかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動				
	第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、楷書に調和する仮名と比べて形の違いがどこに表れているかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動				
	第3学年～ 中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を書いたり、文字の大きさや書く位置、書体などを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動				
	○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。				
	第1学年～ 文字の大きさと配列、点画の形や方向の変化など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、日常生活で使用する硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動				
	第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、日常生活で使用する硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動				
	第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「名言集を作ろう」において、紙の大きさ・色・素材、筆記具などを決めて書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。				
	第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、楷書と比べて点画の丸みがどこにあるかを考えたり、点画の丸みを理解して書くことができたかを振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
	第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、楷書と比べて筆順がどのように変化しているかを考えたり、筆順の変化を理解して書くことができたかを振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
	第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会で活躍する手書き文字の達人の紹介を参考にして、効果的に文字を書くことについて考えたり、文字の魅力はどのようなところかを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について、字形の整え方と筆使いの基本を確かめた後に、仮名の字形と筆使いを確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や筆順の変化などを段階的に確かめた後に、行書と仮名の調和を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 手書き文字や活字の特徴を確かめた後に、日常生活を含めた様々な場面において効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ グループ新聞や地域の魅力をまとめた情報誌の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1，2学年）や、文字を手書きすることの意義を見つめ直す教材（第1，3学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習した内容を他教材や他教科・社会生活で活用できるようにした教材「やってみよう」（全学年）や、日常生活・学校生活の中で必要となる書式を確認したり、伝統文化に親しむ資料にふれたりすることができるよう「資料編」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1・2・3学年	書写・017-72	中学書写
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 字形の整え方と筆順のきまりを確かめて書いたり、ノートを読みやすく速く書くためにはどうしたらよいかを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 行書の部分の書き方を確認して書いたり、行書と仮名の調和のさせ方と速く書きやすくするための工夫を考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 行書と仮名の調和や配列を確かめて書いたり、身のまわりで見かける文字の表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の連続と形の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の連続や形が変化している部分はどこかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、漢字と仮名の大きさ、配列を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 点画の連続と配列に気を付けて書いたり、日本各地にある城跡の文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の筆使いと字形、楷書に調和する仮名の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名の書き方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「三年間の学習の成果を生かそう」において、書体や筆記具などを工夫して中学校の魅力が伝わるリーフレットを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、楷書と仮名を調和させるための書き方を考えたり、漢字と仮名の大きさ、文字の中心、字間、余白について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、漢字の行書の連続、省略、変化と仮名の調和を考えたり、行書と仮名の調和や配列に気を付けて硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、自分で取材した文字や教科書の写真の文字について印象や表現を効果を考えたり、考えた内容を取材レポートにまとめ発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書の点画の筆使いと字形を確かめた後に、段階的に楷書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書の点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 行書と仮名の調和について、漢字と仮名の大きさ、配列を確かめた後に、俳句を小筆または、筆ペンで書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ お薦めの本の帯や新聞の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1、2学年）や、身のまわりで見られる書などの味わい深さを実感できるコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 他教科や日常生活に活用できるよう関連を図った教材「学習を生かして書く」（全学年）や、中学校生活や社会生活に必要な手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがきなどの書き方を取り扱った「書式の教室」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用したり、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1・2・3学年	書写・038-72	中学書写一・二・三年
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字の外形や中心に気を付けて書いたり、終筆の方向と形の変化を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、日常生活で文字を書く多様な場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 書写の学びを生かしながらポスターや看板を書いたり、手書き文字のよさを考えたりする活動を通して、普段の生活の中における文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動			
	○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画が変化しているところを考慮して書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 筆順の変化を理解して書いたり、行書と仮名の調和を考慮して書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 三年間で学習したことを振り返り、自分の課題を確かめて書いたり、未来の自分をイメージして自分の名前をどのように書くかを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動			
	○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 漢字を構成する点画の種類と筆使い、点画の変化や連続など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書と仮名の調和など、これまでに毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「防災フェスタを開こう」において、テーマを決め、集めた情報をもとにポスターや看板などを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動			
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画がどのように変化しているかを考えたり、点画の変化について学習したことを生かして硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画が省略されているところを考えたり、点画が省略されている理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の進め方」を参考にして、身の回りには、どのような文字があるかを考えたり、文字から受ける印象や、気づいたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 漢字を構成する点画の種類と筆使いを確かめた後に、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 身の回りには様々な文字があることを確かめた後に、文字の使い分けや効果について気付いたことを書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 集めた情報をまとめたノートやポップの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1、2学年）や、文字や文字文化への理解・関心を高める教材（第2、3学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 書写で身に付けた力を日常生活に生かせるよう国語や他教科等で活用できる教材（全学年）や手紙やはがき、原稿用紙、通信文等の書式を整理して示した「日常で役立つ書式」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書本体を使用したり、複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用したりするとともに1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究に係る協議・調査内容

国語書写小委員会

番号	協議題	協議・調査内容
1	【国・書】北海道とかかわりのある内容を取り上げている教材数について	・東京書籍株式会社 【国】 8 【書】 8 ・株式会社 三省堂 【国】 8 【書】 1 ・教育出版株式会社 【国】 16 【書】 8 ・光村図書出版株式会社 【国】 10 【書】 7
2	【国】伝統的な言語文化にかかわる教材数について	・東京書籍株式会社 10 ・株式会社 三省堂 14 ・教育出版株式会社 21 ・光村図書出版株式会社 21
3	【国・書】1人1台端末を活用した個別最適な学びの実現に資するコンテンツや資料の工夫について	【国】 「東京書籍株式会社」は、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが用意されており、家庭での自主学習にも活用できるようになっている。 「株式会社 三省堂」は、二次元コードにより、解説動画・朗読音声・漢字などのデジタルドリルなどの豊富なコンテンツを活用できるようになっている。 「教育出版株式会社」は本文の行間を広げることで、ルビ等を見やすくしたり、授業での利便性を高めるため、文の切り取り機能を加えたりしている。 「光村図書出版株式会社」は、二次元コードの動画・音声を視聴し、意見の妥当性や議論の進め方を評価することができるようになっている。 【書】 「東京書籍株式会社」は、インターネットを使って、毛筆教材文字の運筆動画などを見ることができるよう工夫している。 「株式会社 三省堂」は、解説動画などのコンテンツを参照先で提供し、個別最適な学びを支援するよう編集されている。 「教育出版株式会社」は、学習時に参照できる運筆動画などを、ウェブサイトで見られるよう工夫している。 「光村図書出版株式会社」は、タブレットを使う際の姿勢写真を掲載し、正しい姿勢・持ち方が定着するよう配慮している。
4	【国】子どもが学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く学習活動に取り組む「主体的な学び」に関する配慮について	「東京書籍株式会社」は、巻頭の「領域別教材一覧」で既習事項のふり返りや今後の見通しをもてるようになっている。 「株式会社 三省堂」は「学びの道しるべ」で、学習のプロセスを示し言葉による見方・考え方をはたらかせるために、「思考の方法」を図解している。 「教育出版株式会社」は、「学びナビ」を使用して学習者が教材を読み深めていくための視点を示すことで、学びへの見通しをもてるように配慮されている。 「光村図書出版株式会社」は、「学びへの扉」において言語活動と学習目標を示し、見通しをもつことができるように配慮されている。
5	【書】硬筆と毛筆の関連を図った教材数について	・東京書籍株式会社 15 ・株式会社 三省堂 9 ・教育出版株式会社 13 ・光村図書出版株式会社 11
6	【国】カリキュラム・マネジメントに資するように他教科や領域との関連を意識した編集について	「東京書籍株式会社」は、他教科の学習に生きる言語活動を設定するとともに、他教科と特に関連の深い教材にマークと教科名が付されている。 「株式会社 三省堂」は、「資料編」の「社会生活に生かす」において、他教科や日常生活等における言語活動を支える学びの方法を整理している。 「教育出版株式会社」は、「学びを生かす」の欄では、他教科や日常生活・社会生活などへの関連を示すよう編集されている。 「光村図書出版株式会社」は、各学年の巻頭「学習の見通しをもとう」において、各教材に関連する他教科を挙げ、教科横断的な扱いを促している。

※行が足りない場合は増やしてください。

※ 1つの教科・領域で2～5の協議題、協議・調査内容を記載してください。